

千葉県ライフデザイン・結婚支援事業業務委託企画提案募集 質問と回答

質問	回答
事業が広範囲にわたるのでＪＶを検討している。 ＪＶ及び再委託に関して制約があれば教えて頂きたい。	ＪＶ（共同企業体）そのものは、一般的に法人格を持たない団体と考えられますが、本事業に応募するためには、募集要項「３ 応募資格」の（１）から（７）の全ての要件を満たす法人格を有する団体であることが必要です。 再委託については、募集要項「９ 委託契約（１）オ」を御確認ください。
ライフデザインセミナー及びメタバース婚活の周知・募集に関し県の広報を利用する事は可能か？ その場合、内容についての締切、条件があれば教えて頂きたい。	働く若い世代を対象としたライフデザインセミナー及びメタバースを活用した婚活支援モデル事業の周知・募集については、県が主体となって、県の広報手段（ちば県民だより、千葉県広報Ⅹ等）を利用することを検討していますが、委託事業者が県の広報手段を利用することはできません。
メタバース婚活事業に「マッチングした参加者からの相談対応」は具体的にどの程度のサポート回数・頻度を想定しているか？	マッチングした参加者からの相談対応については、相談者の状況に応じて必要となるサポートが異なってくることが想定されるため、個別具体的な案件ごとに柔軟に対応をいただきたく考えていることから、回数や頻度の定めはありません。これを考慮した相談体制の提案をお願いします。
結婚支援コンシェルジュ事業に関して、他県・他自治体事業において「結婚支援コンシェルジュ」の登録をしている者が兼任する事は可能か？ また従事する「一定の時間」について、例えば週に何回以上何時間などの有る程度の条件を想定するものか？	兼任することは可能ですが、業務日誌等により事業に従事した経費や時間を明らかにしてください。 なお、従事する「一定の時間」に条件はありません。
結婚支援コンシェルジュ事業において個別訪問する自治体の担当者及び民間企業・団体はご紹介又は連絡先の共有は頂けるのか？ またその助言等により、自治体・団体等が独自にイベントや事業を実施する場合、県からの補助金が出るのか？ 受託者としてはどこまでサポートの必要があるのか？	県が把握している自治体担当者及び民間企業・団体等の情報は共有可能です。 イベント等に係る費用については、イベント等の実施主体者が全額負担することとなり、県からの補助金はありません。 業務の内容については業務仕様書４（３）イのとおりですが、選定された事業者の提案を踏まえ、支援の詳細は県又は市町村等との協議により決定します。
メタバースを活用した婚活支援における「事前セミナー」どのような想定で進めればよいのか？	募集要項「７ 審査・選考方法（３）評価項目・審査基準」のとおり、参加者へのスキルアップにつながり、メタバースを活用したイベントに参加することについての疑問や不安の解消が図られるような内容を想定しています。

質問	回答
仕様書4業務の概要（2）メタバースを活用した婚活支援モデル事業 ウ 業務の内容 オンライン実施（メタバース）による場合の拠点となる開催場所に関して指定がございますでしょうか。貴庁の会議室などとなりますでしょうか。その場合の開催環境について教えていただくことは可能でしょうか（ネット環境や電源等は確保されていますでしょうか。）	開催拠点の指定はありませんが、当日、受託者と県の連携が十分にとれる体制としてください。 また、拠点を県庁内の会議室とする場合、電源はありますがネット環境については受託者の用意となります。
仕様書4業務の概要（2）メタバースを活用した婚活支援モデル事業 ウ 業務の内容 リアルイベントとメタバースイベントを同時並行で実行するような内容（リアルイベントの内容を生配信、もしくは収録を行いメタバース空間上に投影するようなイベント）の開催もご提案は可能でしょうか。それともリアルはリアル、メタバースはメタバースでイベントの内容を分ける必要はございますでしょうか。	仕様書の要件をすべて満たすのであれば、独自提案の形で提案いただいて問題ありません。
仕様書4業務の概要（2）メタバースを活用した婚活支援モデル事業 イ 業務の対象者 本公募の参加者の対象となるユーザーは男女ともに千葉県の在住者及び在勤者に限定する形となりますでしょうか。もしくは男女のいずれか片方が千葉県の在住者及び在勤者であれば対象としては問題ないでしょうか。	仕様書4業務の概要（2）メタバースを活用した婚活支援モデル事業 イ 業務の対象者のとおり、男女ともに「県内在住または在勤で、結婚の意思のある20歳～39歳の独身の男女」となります。
仕様書2 事業の目的 過年度も千葉県様でメタバース婚活イベントを実施されたかと存じますが、その際の参加された方の感想やアンケート結果を拝見することは可能でしょうか。	参加者からの感想としては、以下のようなものが挙げられます。 ・顔がわからない中、行う体験は新鮮だった。またできたら参加したい。 ・イベントの特徴どおり、会話に集中しながら相手について知ることができた。 ・お互いにプロフィールがわからないため先入観にとらわれず話げできた。 ・メタバース空間でリラックスして参加できた。 ・相手のことをよく知るのに時間が足りなかった。 等